

高田 本山 だより

101 号



第1回高田本山と一身田寺内町フォトコンテスト優秀賞
『静寂』 梅林 正道 さん

一光三尊佛 中開帳にあたり

一光三尊佛御開扉事務局局長 久野 俊彦

栃木の本寺よりお迎えしている一光三尊佛の中開帳御開扉が四月三日より始まります。三尊さまは親鸞聖人が直に手を合わされた仏さまです。中開帳の前半に行われる御開扉慶讃法会では午前法会、午後法会に加え高田派内外のご講師による特別講演があります。また、三尊さまの御尊前でお参りいただける特別読経や一光三尊佛絵伝の絵解き等も催します。

今回の中開帳に合わせ、三重県総合博物館では「親鸞 高田本山専修寺の至宝」展が開催され、聖人御真筆の『三帖和讃』『西方指南抄』等高田派の歴史を伝える貴重な法宝物が数多く展示されます。

阿弥陀如来の智慧と慈悲に照らされてこそ安寧の世界が実現されるとお示し下さった親鸞聖人。そのみ教えをいただくまたとない機会です。ぜひ足をお運び下さい。

特集

一光三尊佛中開帳

特別御開扉合わせ56日間

本山で一光三尊佛の中開帳が始まります。今回の中開帳は特別御開扉を合わせますと延べ五十六日にわたり、信州善光寺の前立本尊御開帳と同時期の御開扉となります。



御開扉 平成27年4月3日から5月28日まで
一光三尊佛御開扉慶讃法会 4月3日～10日



7時 晨朝（御開扉）・説教
10時 午前法会・お言葉・説教
13時 午後法会・説教
14時 特別講演
16時 夕事（御閉扉）

特別講演



三日

親鸞聖人のみ教えを丁寧伝えてくださる
高田派鑑学 清水谷 正尊 師
「無量寿」



四日

現代人の心の問題を中心に
さまざまなメディアで発言を続けるドクター
精神科医 香山 リカ 先生
「よい子の心に何が起きているか」



五日

仏教の言葉をやわらかく届けて下さる
僧侶でアナウンサー
真宗大谷派 川村 妙慶 師
「私が私であつてよかったと思える人生」



六日

本寺のある町の町史編集では
「高田専修寺と高田門徒」の章を執筆された歴史学者
日本女子大学教授 永村 眞 先生
「親鸞聖人の東国門徒へのまなざし」



七日

いつもにこやか菩薩のお顔。高田派の善知識
高田中・高等学校教諭 松山 智道 師
「光と闇 観音勢至のお導き」



八日

平安より続く日本の無形記録文化財の「絃琴
その音色は一本の絃とは思えないほどに奥深い
一絃琴正流 清壽会 会主 荒井 眞道 師
一絃琴と和楽器の合奏

イベント

大講堂説教

八日～十日

十二時三十分～十三時三十分

絵解き

如来堂におきまして一光三尊
佛絵伝の絵解きを行います。

三日～十日 九時三十分から
と十二時三十分からの二回です。
約二十分です。

仏教音楽の集い

四月五日（日）

十二時～十二時三十分

岐阜県善教寺の魯あす香さん
によるエレクトーン演奏がありま
す。昼のひととき仏教讃歌と親し
みのある音楽でお楽しみ下さい。



同時開催

三重県総合博物館

津市一身田上津部田三〇六〇

『親鸞——高田本山専修寺の至宝——』

3月21日～5月10日

- 開法会は4月21日に
 - 寺族青年の集いは5月10日に
- 博物館で開催します。

◆入館料(企画展)
一般 800円
学生 480円

◆無料シャトルバス運行
4月4日(土)、5日(日)
9時から17時の間で
高田本山と三重県総合
博物館を結ぶ無料シャ
トルバスを運行します。

縁に出会うさまに仏の直様人聖鸞親

尊前特別読経のご案内

中開帳期間中、一光三尊佛の御尊前で特別にお参りをさせていただきます。

● 四月三日～十日 午前十一時三十分より

● 四月十一日～十六日 午前十時より
この機会に是非お申し込み下さい。
当日申込みの他、事前申込みも受け付けています。

オリジナル巾着

御開扉慶讃法会中、

法会懇志(三千円以上)をお納めいただいた方にオリジナル巾着をお渡しいたします。経本入れ、小物入れ、化粧品入れ等多用途にお使いいただけるものです。



高田派随一の画家 服部亮英展

四月三日～十日

十時～十五時

宗務院第二会議室



服部 亮英
(はっとり りょうえい、一八八七年～一九五五年) 三重県の真宗高田派慈教寺の長男として生まれる。東京美術学校西洋画科を卒業後、東京朝日新聞社に入社。持ち前のデッサン力で漫画に才腕をふるい、国会などの名士の似顔絵を描いて、漫画の服部として名声を博した。又、親鸞聖人の御得度など、絵伝を主題とした日本画も妙を得て、末寺には数多く作品が残されている。

（一九五五年）三重県の真宗高田派慈教寺の長男として生まれる。東京美術学校西洋画科を卒業後、東京朝日新聞社に入社。持ち前のデッサン力で漫画に才腕をふるい、国会などの名士の似顔絵を描いて、漫画の服部と



▲堯猷上人



フォトコンテストの作品展示

第1回高田本山と一身田寺内町フォトコンテストに応募いただきました写真は800点以上にのぼりました。入賞作品は、「親鸞 高田本山専修寺の至宝」展開催の3月21日～5月10日の間、三重県総合博物館内で展示します。また、応募作品のすべてを高田本山御影堂から御対面所の間の廊下に展示いたします。

三尊さま出開帳

私のお寺にお迎えして



満願寺

(津市河芸町一色)

平成二十六年十二月三日

私達の寺は、津市の最北の海岸近くにあり、本山からは約五キロに位置する漁師町です。

平成二十六年に、十七年に一度の三尊佛御開扉法会が本山で営まれるという事で、その年の一月四日の新年世話方



会議で話し合い、今年の報恩講に合せて出開帳法会をと決め、準備を進めることにしました。古くなった鐘撞堂の修復と、提灯ちようちん一基と架台の新調、記念品等々を世話方で話し合い準備をしてまいりました。おかげさまで、檀家さんの協力を得て、十二月三日に三尊佛出開帳法会を迎えることが出来ました。

しかし考えてみますと、平成二十六年八月に住職の父が亡くなられ、一時はどうなることかと思つたときもありました。しかし、三尊佛をお迎えし、間近で参拝する事が出来た御縁、多くの同行さんの参拝、新しい寺の歴史に残る行事となりました。

その後、各檀家さんと顔を合わせますと、お礼の言葉をいただきます。大変でしたが

永福寺

(東京都府中市多磨町二丁目)

平成二十六年十二月七日

三尊さまをお迎えした法会

前日は、天気予報に反して昼過ぎから雨が降り出し、一同ヒヤヒヤしておりました。ところが、三尊さまのお力でようやく、三尊さまを乗せた車が永福寺に到着する直前に



ピタリと雨がやみ、雲の隙間から青空まで広がり、無事、三尊さまを境内から奥にのせて本堂へご遷座せんざすることができました。

法会当日は前法主殿をお迎えし、朝から沢山のお同行の皆さまにもご参詣頂き、晴天の下、法会に先立って稚児練りを行うなど、華やかな雰囲気の中での御開扉法会となりました。

法会後の懇親会では、前法主殿が寺役員の皆さんの席までお越しになってご歓談なさり、お写真を一緒に撮られるなど、とても和やかで思い出深いひと時を過ごすことができました。

今回で三度目となる出開帳。三尊さまのご縁に感謝し、また十七年後へとご縁を繋いでいきたいと思ひます。

衆徒 藤尾 忠洋

お迎えして良かったと思う今日このごろです。

総代 三井 輝一

京仏壇京仏具・ご本堂内装
お仏具ご修復・お納骨壇

高田本山御用達

京仏具

<http://www.kobori.co.jp/>本店／京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈！ お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」

お申し込みはこちらから ☎(本店)0120-27-9595 (受付時間9:00~18:00)

600
8342京都市下京区花屋町西洞院西入
永田文昌堂電話 075・371・6651
FAX 075・371・9031
振替 010200・4・90336

鎌田宗雲著

真宗伝道の教材

本体1500円十税

深川宣暢著
撰取の法

本体1800円十税

本書は二部から構成される。第一部は論文編十二編から成り、第二部は著作解説編二十編から成る。また存覚上人行状記・存覚上人略年表・存覚上人関係諸録・著述・論文目録が掲載されている。

本体6700円十税

六角会館シリーズVI
林智康編

存覚教学の研究

本書は二部から構成される。第一部は論文編十二編から成り、第二部は著作解説編二十編から成る。また存覚上人行状記・存覚上人略年表・存覚上人関係諸録・著述・論文目録が掲載されている。

話法のち

久世宜範

「いのち」という言葉を聞いた時に思い浮かぶことは人それぞれ違うにせよ、同じようなものが思い浮かぶことと思います。人間の寿命など様々あることで

しょう。もちろん人間の寿命も「いのち」に違いはありません。

私個人の話ではありますが、四歳の長男と一歳の長女がおります。長男を育てる際に感じたことは、子育ては思い通りにいかない、これが最初に痛感したことでした。生まれてしばらくの間は自分で何もできない赤ちゃんが、一日に何回も泣いて親や周りにいる人に何かを訴えます。何をアピールするにも泣くことで自分のことを知らせようとします。それはお腹がすいてミルクが欲しい時や、おむつを替えてほしい時など。しかし、お腹がすいた時に泣いて「ミルクが欲しい」と訴える泣き声は、純粹に自分が生きていくために必要な手段として、お腹がすいていることを周りに知らせる「いのちの叫び」とも言えるのではないかと感じました。人間は時間がたてばお腹がすくのは当たり前で、話すことができれば尋ねて返事を聞くことでわかります。しかし、

赤ちゃんは話すことはできないので、自分の「いのち」のアピールとして泣くことで周りに知らせる。そう考えると、誰からも教わることなく生まれた時から本能的に生きる手段を身につけていることは、ご先祖から繋がる遺伝子がその役割を果たしていることですが、それは現代に始まったことではなく、みんな同じ経験をして育ってきたのです。

何十人、何百人、何千人もの私のご先祖が繋いでくださった「いのち」のリレーはたった一人のご先祖がいなくて今の私は存在しません。それは誰にとっても同じことです。私の「いのち」、子どもの「いのち」。それは当たり前ではなく、不思議でもあり、大変な難い「いのち」をいただいて今を生きているのだと改めて感じています。

子どもが生まれるまでは「いのち」についてそれほど考えることはありませんでした。子どもが生まれることで「いのち」について考え、ただ単に人間の寿命だけが「いのち」ではなく、本能的にミルクが欲しい時に訴える赤ちゃんの泣き声も「いのち」を求めているのだと、二人目の子どもを育てながら感じていきます。

(三重県津市 寶田寺住職)

東日本大震災 義援金 御礼と報告

ご寺院さま、お同行さまの
あたたかいご支援に心より
御礼申し上げます。

○平成二十七年三月十日

中日新聞社三重総局へ義援金
200万円お届け致しました。

震災より四年がたち、被災地域では現在、除染作業や都市復興計画がすすめられています。しかし、一人一人がもとの生活を取り戻すにはなお多くの時間がかかることでしょう。その間、震災を風化させず、忘れないという取り組みを続けていかなければなりません。

被災者・被災地域への支援はまだ必要です。

平成二十七年三月までに、総額19,556,643円の義援金をお預かり致し、現在までに17,465,703円をお届けさせていただきました。



世の中安穩なれ 仏法ひろまれ

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鋳金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所
〒514-0114 三重県津市一身田町2819
TEL:059-232-4171 FAX:059-232-1414
(本山宗務院内 絵所)

絵所頭 安川如風
ごほんざんえどころ
にようふう

御本山御用達

井筒法衣店

〒600-8503

京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）

フリーダイヤル TEL 0120-075-720

フリーダイヤル FAX 0120-075-490

七高僧シリーズ⑫

源信大師(下)

親鸞聖人は『浄土高僧和讃』の中で、源信大師について十首詠まれています。

その八首目に、
煩惱に眼障えられて
撰取の光明見ざれども

大悲ものうきこと無くて
常に我が身を照らすなり
と讃嘆されています。

ここに詠まれているご和讃は『仏説観無量寿経』真身観の「一々の光明は、あまねく十方世界を照らし、念仏の衆生を撰取して捨てたまはず」という文を源信大師が我身に聞き取られて、『往生要集』に「われまたかの撰取のなかにあれども、煩惱、眼を障へて、見たてまつることあたはずといへども、大悲倦むことなくして、つねに我が身を照らしたまふ」と書かれた文に依られたものであります。

親鸞聖人は『正信偈』において、ほとんどその文のまま

にこの言葉をいただかれて「我亦在彼撰取中 煩惱障眼 雖不見 大悲無倦常照我」と記されています。親鸞聖人が、どれほどこのご文を大切にされていたのかということを知られます。

このご和讃では、第一には、日夜三毒五欲の煩惱にさいなまれていたために眼が覆われてしまっていて、阿弥陀仏がすべての人を救いとげようとして放たれる光明が見えないでいる私と、第二には、その

大慈悲の光明は、疲れ怠ることなく、本来除かれて当然のこの我が身までも常に照らし給うているという、我が身の真実に対する深い悲歎とともに、しかもなおその我が身を照らし続けて倦むことのない撰取の光明への深い讃嘆が述べられているのであります。

【語句解説】

○三毒：三種の代表的な煩惱。貪欲、瞋恚、愚痴

○五欲：五種の欲望。財欲、色欲、飲食欲、名譽欲、睡眠欲

(教学院第三部会)



『往生要集』に説かれる地獄の様相

お墓

寺標

墓地移転

霊園開発造成

高田本山御用達
全国優良石材店、認定店

創業110余年

ISHIBEN
株式会社 ストーンズ 石仙
(旧(有)山本石材店)

〒0120-67-4114
四日市市近鉄阿倉川駅前 ☎059-331-4114



ホーオーが目印！

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・蟹江店・桑名メモリアルパーク



高田本山御用達
三重県仏教会御推薦

石碑
記念碑
燈籠



高級御影石専門店

御影石材(株)

〈石に御用の方は〉
☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)
☎059-224-1700(代)

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入(中央局区内)
電話 (075)371-0854・8181~2番
FAX (075)344-2701番
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

諸法会

● 讃佛会 三月十八日～二十四日

晨朝 午前七時より

日中 午前十一時三十分より

御親教 二十一日(土) 日中勤行後

復演 鑑学 新光晴 師

● 一光三尊佛慶讃法会 四月三日～十日

● 千部法会 四月十一日～十六日

日中 午前十一時三十分より

● 十万人講法会 四月十四日・十五日

日中 午前十一時三十分より

● 戦没者追弔法会 四月十六日

行列 午前十一時より太子堂へ参堂

日中 午前十一時三十分より

諸行事

● 興学布教研究大会 四月二十九日(水・祝)

仏教の深みを求めて、高田派僧侶数

名が日頃の研究の成果を発表します。

どなたでも聴講できます。

午前十時～午後三時まで

● 高田派婦人連合大会 六月七日(日)

第一部 祖師寿表彰(女性)

第二部 講演 浄土真宗本願寺派 光明寺住職

武蔵野大学教授

石上 和敬 師

第三部 合唱(高田幼稚園)

親鸞聖人降誕会

5月21日 御参廟 午前9時より
式典 午前10時より
[本山褒賞・本山表彰・祖師寿表彰(男性)]
日中 午前11時30分より

私たちに、真実のみ教を伝えて下さった親鸞聖人
がお生まれになったのが、承安三年(一一七三)
五月二十一日(旧暦四月一日)です。

私たちは、親鸞聖人
がおられなかった
ら、今生においてお
念仏に出遇うことは
なかったでしょう。

親鸞聖人は阿弥陀如
来の応現としてお念
仏を伝えるために、
世界に降りてきて下
さったのでしよう。

そのお徳を偲ぶ法会
です。



釈迦三尊仏法会

4月8日 午前9時より



御影堂の正面にある、高田本山
で一番大きな山門の上には釈迦如
来・普賢菩薩・文殊菩薩の釈迦三
尊仏を御安置しております。普段
は閉ざされておりますが、年に一
度山門の上でお勤めが行われます。
このときには門上が開放され、皆
様にお参りいただけます。山門を
上る階段が急なため、動きやすい
服装でお越し下さい。

みんなでできてください

●対象: 幼児から中学生まで
●当日受付(宗務院)

●お問い合わせ/宗務院教学課
☎059-232-4171(代表)



高田本山の風景を描きませんか?

写生大会

3月21日～4月5日
10:00～15:00

受付にて画用紙をお渡しします。画材はご持参下さい。
優秀作品は花まつりにて表彰します。

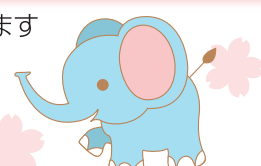
後援 中日新聞社・一身田商工振興会・高田会館

お釈迦さまの誕生をお祝いします

花まつり

4月19日(日)
10:00～12:00

お釈迦さまにささげる一輪のお花をお持ちください。
甘茶をそそぎ、
ぞうさんと一緒に門前の寺内町を歩きます。



高田本山の大涅槃図を拝す



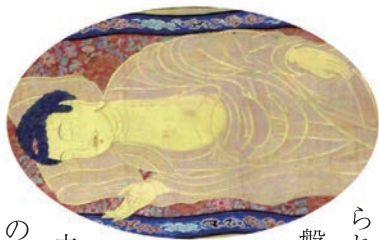
江戸時代後期、円山応挙門下の長沢芦雪か、その一派によるものと推定。平成20年に三重県表具内装組合（村田義行代表）の50人の職人により約8ヶ月かけて修復された。毎年3月15日に如来堂に奉懸し涅槃会を勤修し、11時と13時に絵解きを行います。本年は特別に三重県総合博物館にて、3月21日から5月10日まで、「親鸞—高田本山の至宝—」展で展示いたします。

画面の縦五メートル五十、横

涅槃図とは

たものを涅槃図と呼びます。

四メートル、表具を入れると高さ六メートルを超えるため、如来堂の梁から吊してやっと全体を拝むことが出来るほど、とにかく大きい。全国的にも珍らしい巨大な涅槃図だ。しかも豊かな濃彩を用い、実に精緻で見事な筆遣いで仕上げられている。



お釈迦さまがお亡くなりになられたことを「涅槃に入る（＝全

画面の中央、宝台に横たわり完全な涅槃に入られたお釈迦さま

ての煩惱が消滅した状態」と表現するところから、ご逝去されたときの様子を絵にし

まは、全身から光明を放ち、金色身となられたことから肌が金色で描かれ、頭を北にして、顔は西に向け、右脇腹を下にした「頭北面西右脇」の姿勢をとらせています。頭を北にして寝る「北枕」は、お釈迦さまの尊い



お釈迦さまの涅槃を通して、すべてのいのちが尊く平等であると説かれたお釈迦さまのいのちの世界を教えてください。のです。

お姿と同じ姿勢なのです。お釈迦さまの周りには、たくさんのお弟子さんや、菩薩さま、お釈迦さまを敬う人々が集まって来ています。他にも、獅子、象、水牛、犬、ネコ、ネズミ、ニワトリなど、多くの動物たちがお釈迦さまのもとに駆けつけ、悲しみにくれています。高田本山の大涅槃図で特徴的なところは、手前に池が描かれ、コイ、亀、カニ、水鳥など水辺に住む魚や動物のほか、アリ、ムカデなどの小さな虫たちまでも、お釈迦さまの死を悲しみ集まって来ていることです。ここに、お釈迦さまの涅槃を通して、すべてのいのちが尊く平等であると説かれたお釈迦さまのいのちの世界を教えてください。のです。

檀信徒研修会

●テーマ 「高田派中興真慧上人」

■受付 平成27年5月14日(木)

9時より

■会場 本山及び高田会館

寺院名

真宗高田派本山 専修寺

三重県津市一身田町2819 TEL 059-232-4171 FAX 059-232-1414
本山だより発行所 宗務院 発行部数 35,000部

<http://www.senjuji.or.jp/>

高田本山

検索